

## 平成25年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
宇陀市	宇陀市立室生東小学校

### 1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

「地域と共にある学校づくり」を推進し、学校と保護者・地域が「協働」することにより、「地域教育力の向上」をはかる。

### 2 取組の概要

#### 《室生東小秋祭り》

本年度は、学校園で育てていたさつまいもなどがサルの被害に遭い、収穫をすることができなく（3年連続）、子どもたちが楽しみにしていた『秋の収穫祭』の内容も変更せざるを得なかった。内容については、本年度パートナーシップ事業との関わりも考え、地域との交流を大切にしたい地域伝統的な餅つきを子どもたちの前で披露してもらうなど、『室生東小秋祭り』と銘打って行うことにした。また、せっかくの機会でもあり、保護者はもちろんのこと、こども園の園児も招待し、交流を深めることにした。

深野地区に昔から伝わる伝統的な餅つき『千本木餅つき』を舞台の上で披露してもらい、由来やそれにまつわるお話をしてもらった。地域の方々だけでなく、学校職員や保護者も参加して餅をつく体験をすることができた。道具や時間の関係で、子どもたちは実際に体験することはできなかったが、初めて見る餅つきに歓声を上げていた。餅つき後は、その餅をちぎって丸め、参加者全員で食べるなど交流を深めた。



（千本木餅つきをする深野地区の皆さん）

このような、地域の方々と触れ合う機会を持つことによって、子どもたちは、自分たちの地域がより身近のものに感じられるようになったと思われる。また、地域の方、保護者、こども園の園児などのたくさんの人と関わることが、子どもたちの社会意識の向上に役に立ったと考えられる。

#### 《お話の会》



榛原お話の会の方々に、月に2回程度金曜日に来ていただいた。冬場（1月～3月）は道路事情や天候を考慮して実施はしなかったが、1校時が終了する前15分間、各学級に入ってもらい読み聞かせをしていただいた。子どもたちは、このお話会を非常に楽しみにしていた。

## 《花いっぱい運動》



学校で4月～5月に花の種をまき、苗を育てた。学校近くの「こもれび市場」で行われた『こもれび祭り』に参加し、自分たちで店を出し、育てた苗を地域の方々に販売をした。店を出すことで地域の方々とふれあったり、自分たちが育てた花を地域に提供することができた。

(こもれび祭りでの子どもたちの店)

## 《茶道教室》



学校近くのお宅で茶道の体験を行った。全員が体験することはできなかったが、1年生と6年生、家庭科クラブの子どもたちが、茶道体験をした。茶道に触れるということだけでなく、地域の方とふれ合うことも有意義であった。

(1年生の体験の様子)

## 《ごみ〇運動》



(通学路の空き缶やごみ拾い)

## 《環境整備》



(校庭芝刈り)